

|       |        |      |           |
|-------|--------|------|-----------|
| 3類型   | 鉋工業品   | 通巻番号 | 5-20-006  |
| 地域資源名 | 京鹿の子絞  | 認定日  | 平成20年7月7日 |
| 地域    | 京都府京都市 | 所管省庁 | 経済産業省     |

**事業名：京鹿の子絞り染色加工技術を異素材に活用した二次製品(服飾雑貨・インテリア製品等)の開発・販売**

会社名：有限会社絞裏庵

所在地：京都府京都市中京区西ノ京小倉町4番地48

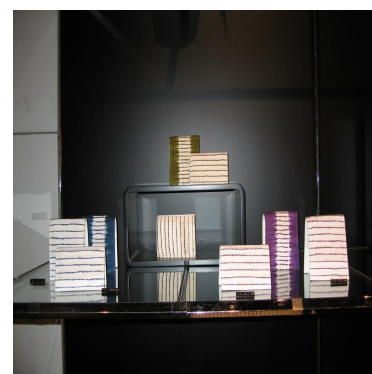
連絡先：TEL：075-821-1866

H P：http://www.shiborian.co.jp

FAX：075-821-1870

**事業概要(新たな活用の視点)**

- ・京鹿の子絞りは、今から約1200年前に大陸から伝わり、着物の最高級品として消費者に愛されてきたが、産地の状況は大変厳しい。
- ・こうした中、当社は「京鹿の子絞りの染色加工技術」を活用し、従来の素材の絹ではなく、新素材として異素材(帆布、デニム等に代表される厚手織物、皮革等)に加工を施す事で立体形状を半永久的に継続させる技術を開発し特許を取得した。
- ・この技術を用い、財布やかばん等の服飾雑貨や椅子、ソファなどのインテリア製品への製品化に着手し、従来の呉服市場だけではなく新市場での事業化を図る。



【絞り染め帆布財布小物】

**売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)**

◆競争力

- ・京鹿の子絞りの要素(絞り加工染色)に永久的な立体加工技術(当社の特許技術)を取り入れ、機能性(滑り止め効果、適度な通気性)とそのデザイン性により、新しい価値-「美感・質感・触感」を生み出している。

◆市場性

- ・市場ニーズや市場動向を鑑みると、当社のように京鹿の子絞りと独自技術である「立体加工の永久化」や「立体形状基材」を用いた、文化を併せ持つ製品の市場は拡大するもの予想される。

◆販路

- ・国内は、現在も取引のある大手デパートを中心に販売していく。また、セレクトショップでも販路拡大を目指す。
- ・海外は、展示会への出展により認知度を高め、販路を確立していく。



【絞り染め帆布鞆及び小物(黒)】

**地域資源における関係事業者との連携**

- ・製品化の防水、防汚処理等では地域内企業と連携して事業を進めている。また、新市場への取り組みのため、家具構造や椅子張り加工などについても地域内企業からアドバイスをもらいながら、協同して製品づくりをおこなっている。